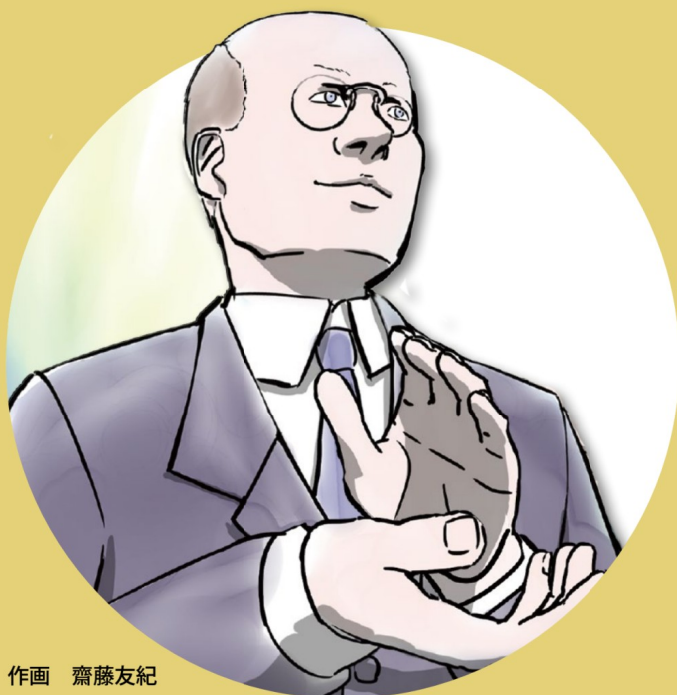


連載コミック

# ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第5章  
ロータリーの精神（前半）



作画 齋藤友紀

原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』  
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）  
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！  
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



## 第5章 ロータリーの精神(前半)





彼はそうした信頼関係の確立が、相手の身になって考える「奉仕概念」と一致するものと考えました。

その考え方を企業経営者の心に訴えるかたちで、どう表現すれば良いか考え続け、

そして…

He profits most who serves best.

「その仲間に最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」

すなわち、のちにロータリーの標語の原型となる言葉を導き出しました。

この言葉が、1911年、第2回全米ロータリークラブ連合会のポートランド大会で承認されると、

会場は一瞬水を打ったように静まり…

次の瞬間、万雷の拍手が起こりました。

こうして彼の言葉はロータリーの標語に加えられることになりました。



その後、ミネアポリス・ロータリークラブの初代会長、フランク B. コリンズは壇上で…



ロータリークラブの組織の中においてなすべきことがある



それは、直ちに行動を起こすことである

自己のためにロータリーに入会したものは間違った会員である







こうした思想の発展を受け、ポールは…

利己と利他の調和という  
実質的概念を実現するため、

毎週1回の定例会に  
皆で集まり…

その親睦の中で世俗から解放され、  
異業種の知恵が交換され、視野が広がり、

やがて利己と利他との調和が  
見えてくるのではないかと？

その調和が見えてくれば  
利潤を獲得しつつも

社会の全ての人たちの夢を実現する明るい構想が  
開けていくのではないかと？

…と、悟ったのです。

しかし、私的利潤の追求といっても  
社会的責任を免れるものではありません。

まず私的利潤の追求を先とし、  
次に「親睦」があると考えました。



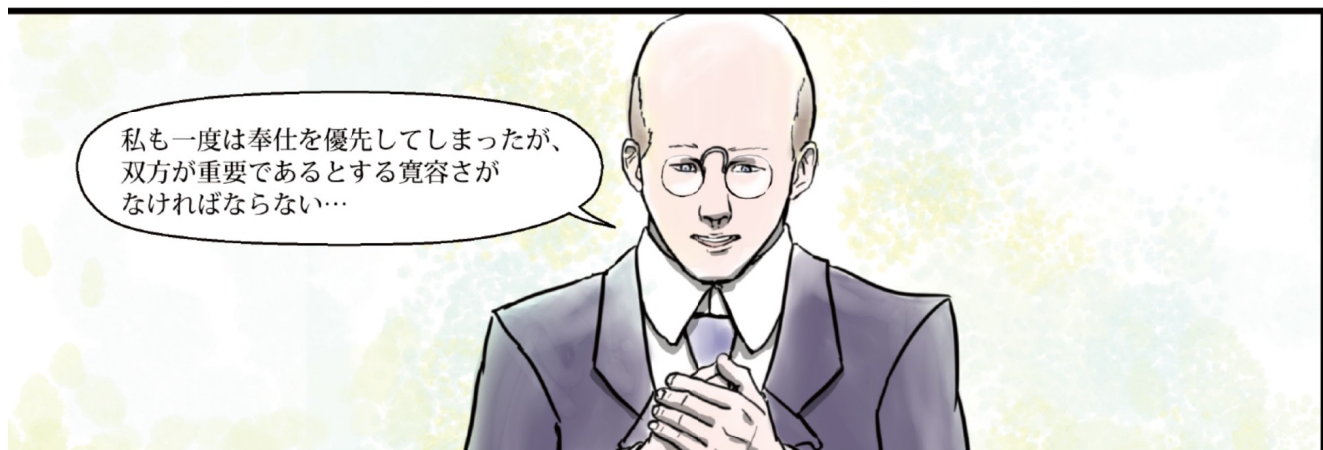


まず、利己と利他の調和を  
図らなければならないが、

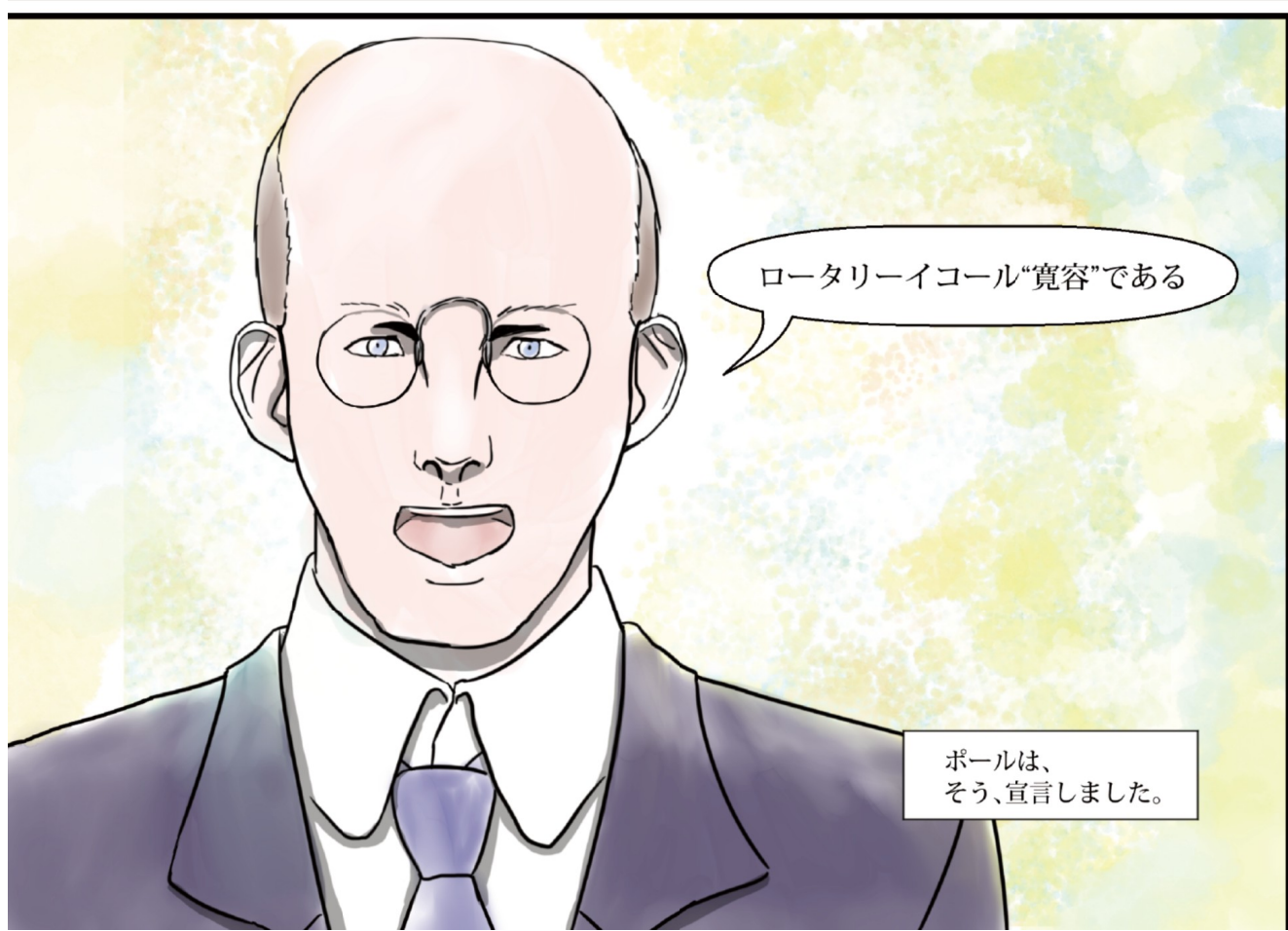
その調和を成せるものこそが  
奉仕ということなのではないか…



ロータリーは親睦と奉仕の  
調和の中に宿る



私も一度は奉仕を優先してしまっただが、  
双方が重要であるとする寛容さが  
なければならない…



ロータリーイコール“寛容”である

ポールは、  
そう、宣言しました。

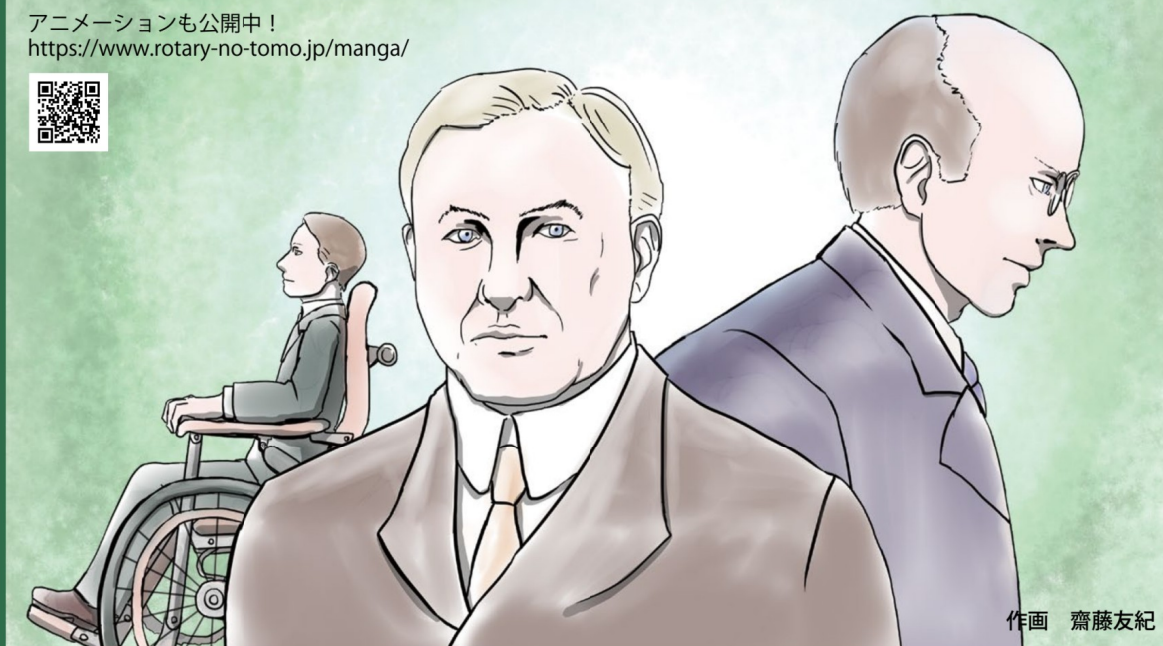
連載コミック

# ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第5章  
ロータリーの精神（後半）

原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』  
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）  
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！  
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



作画 齋藤友紀



## 第5章 ロータリーの精神(後半)

1910年頃…まだ16~17の  
ロータリークラブしかありません  
でしたが、あるクラブが、

身体障害者への教育という、  
全米に起こった問題に着目しました。

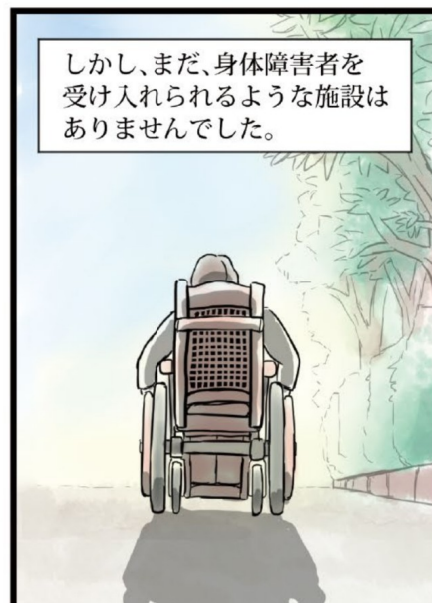
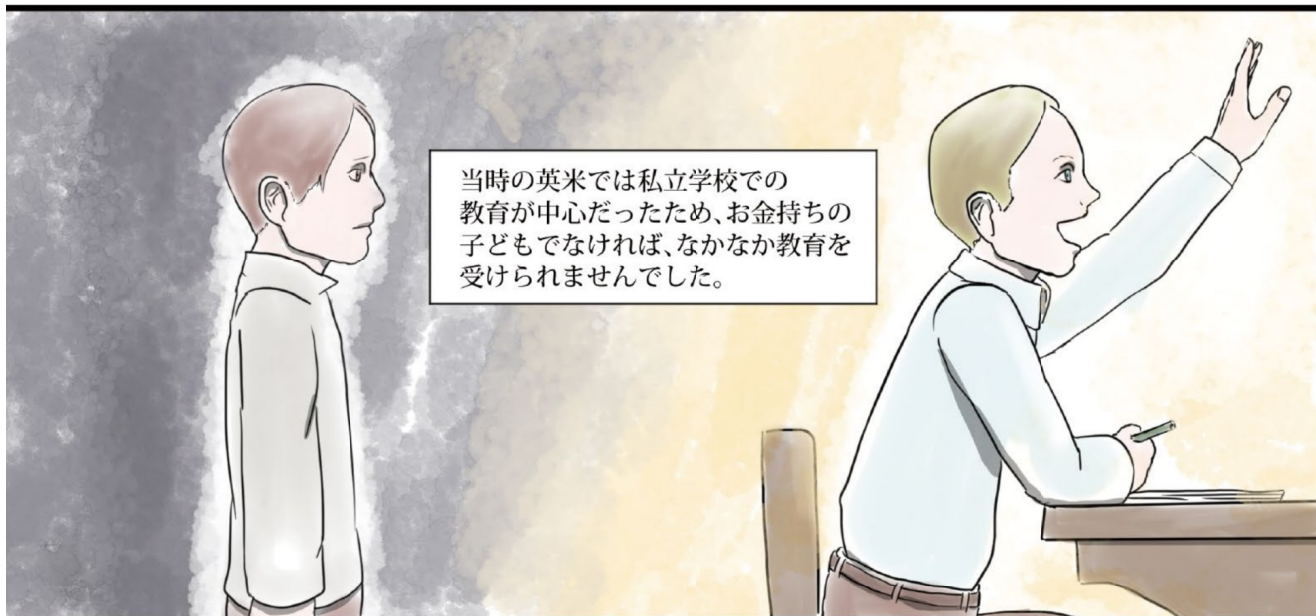
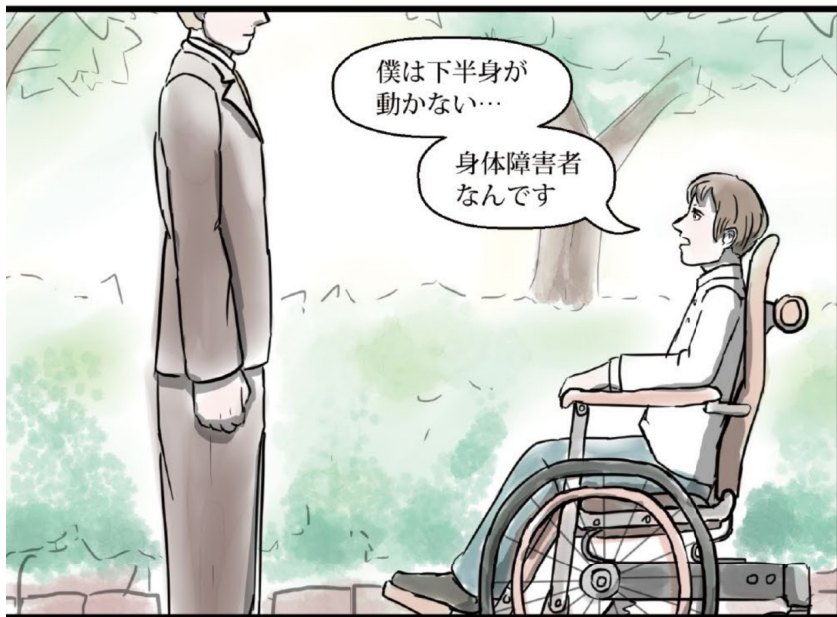
1914年のある日  
オハイオ州のトレド。

ねえ、君

はい

君ぐらいの年頃なら今の時間は学校に  
行っているはずだと思うのだが…

……



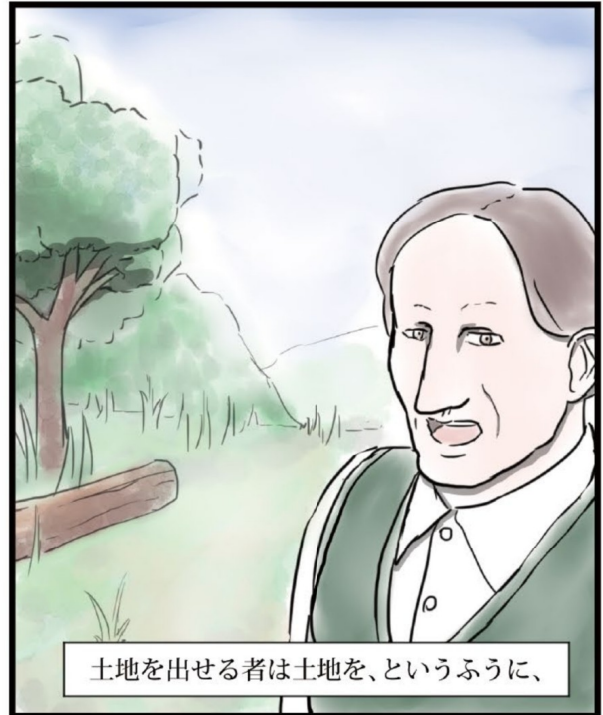








そして、お金を出せる者はお金を、



土地を出せる者は土地を、というふうに、



労力を出せる者は労力を、



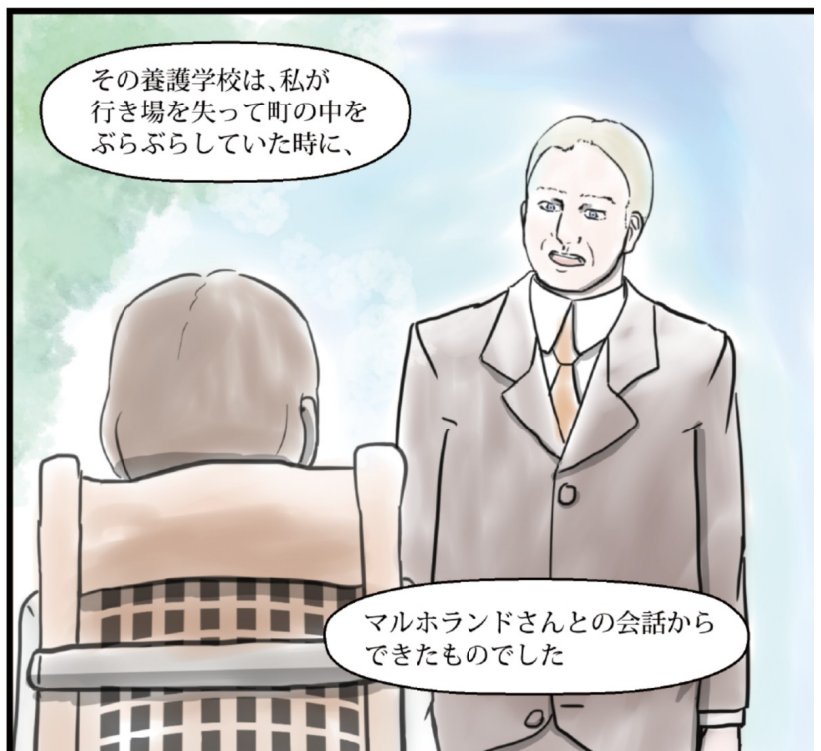
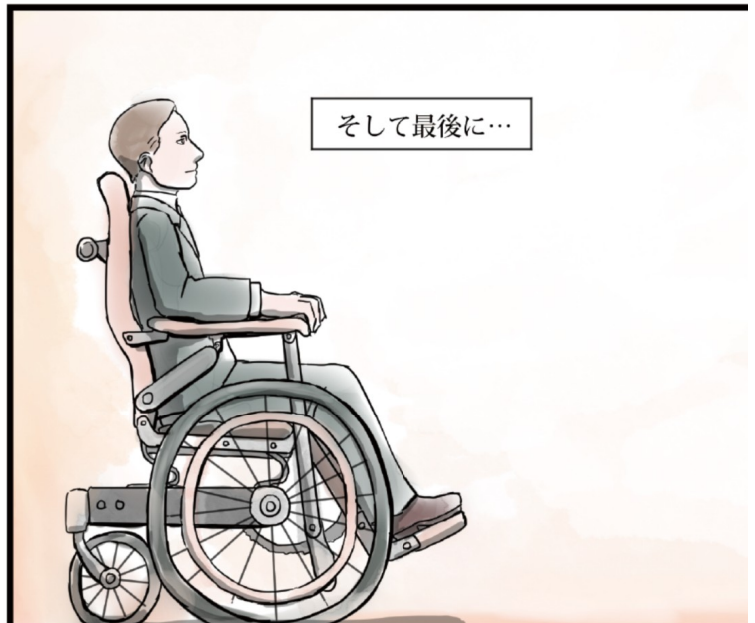
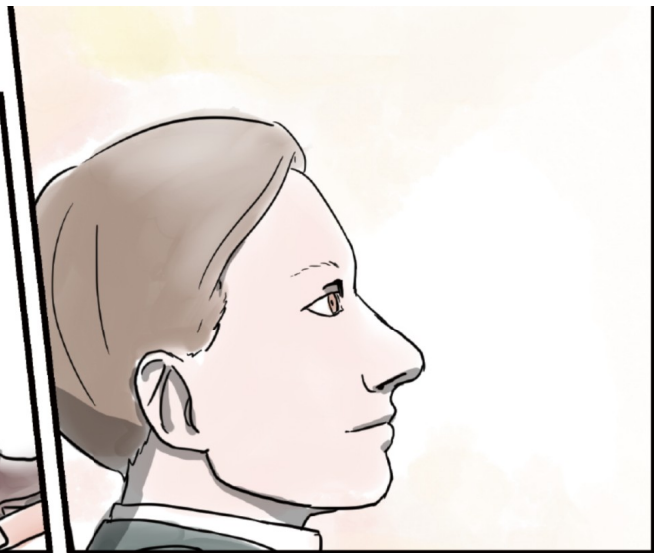
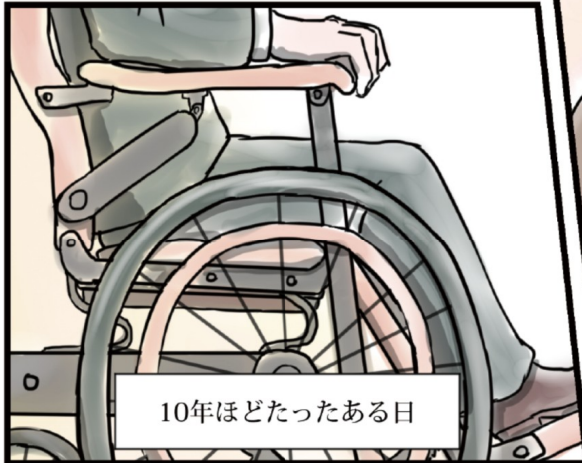
クラブを挙げて取り組み、養護施設を造り、

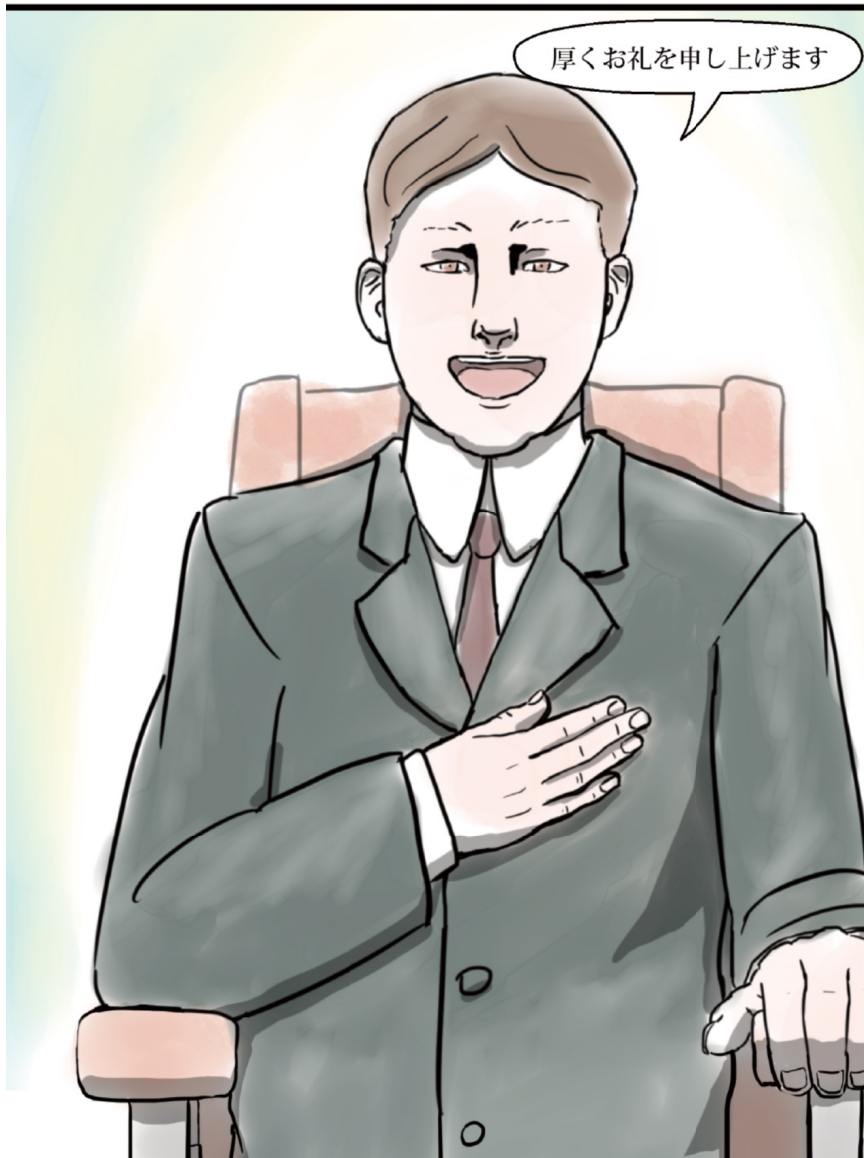
身体障害者が無料で教育を受けられるようにしました。



このロータリアンこそ、1914-15年度  
国際ロータリークラブ連合会の会長を  
務めたトレド・ロータリークラブの  
フランク・マルホランドその人でした。







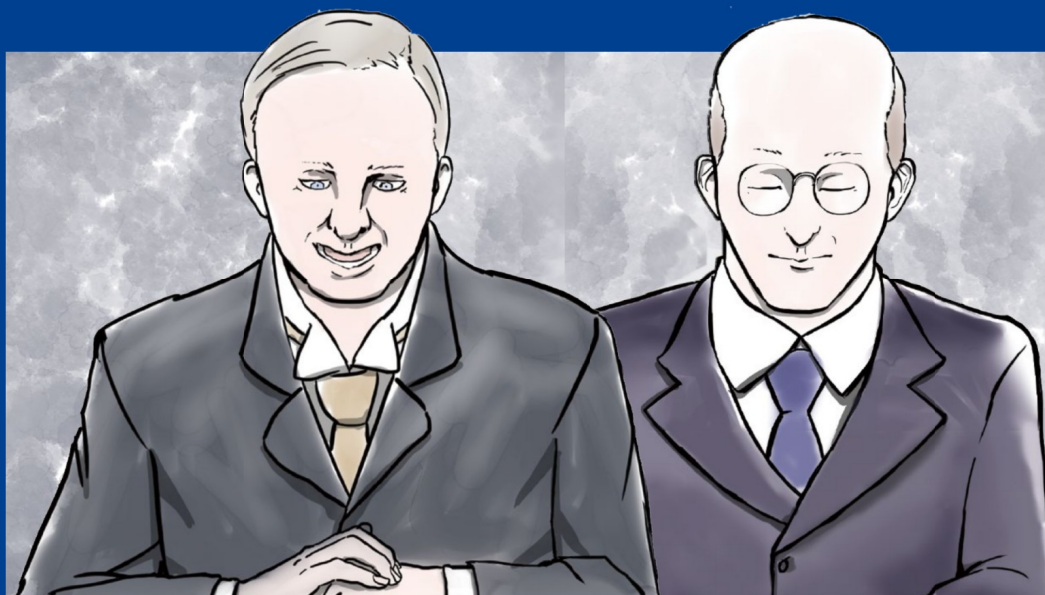


連載コミック

# ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第6章

ロータリーの原理・原則（前半）



作画 齋藤友紀

原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』  
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）  
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！  
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



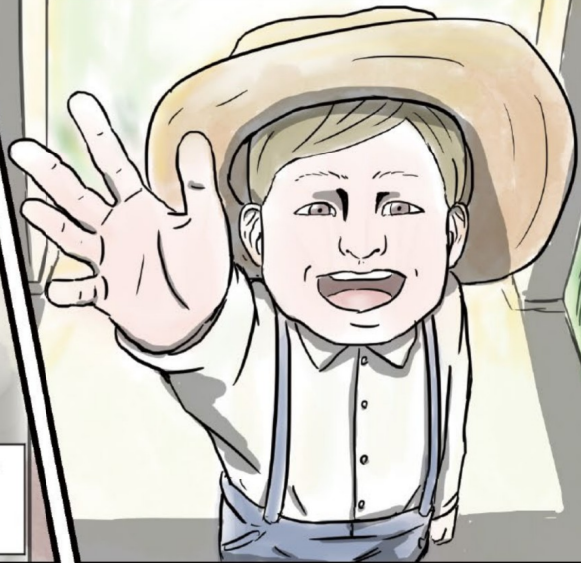
第6章 ロータリーの原理・原則(前半)

ロータリーが障害者支援に  
乗り出した1915年頃…

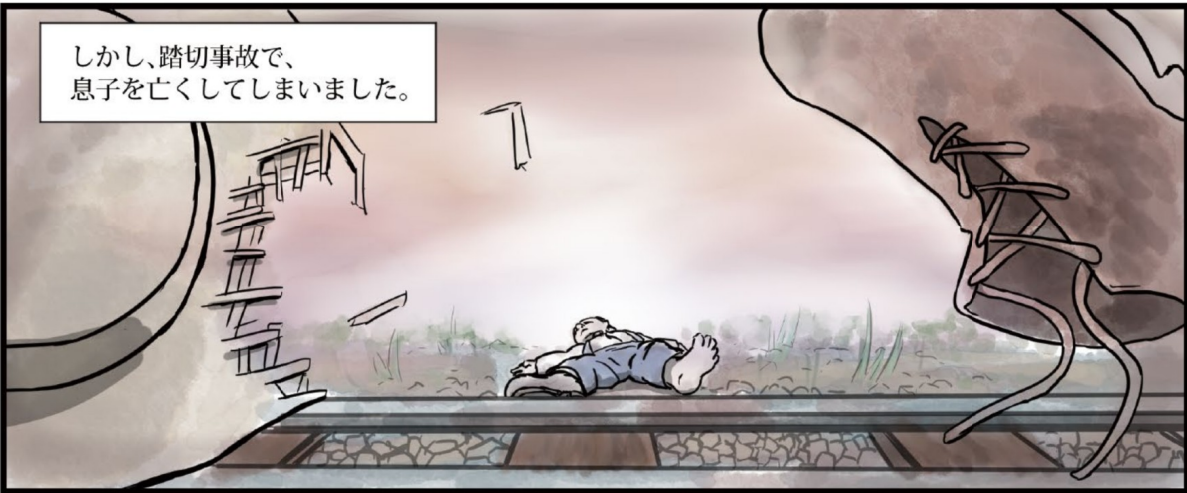


エリリア・ロータリークラブ  
のエドガー・アーレン  
(病院経営者)

彼には目の中に入れても痛くないほど  
慈しんでいた一人息子がいました。



しかし、踏切事故で、  
息子を亡くしてしまいました。



…もし…

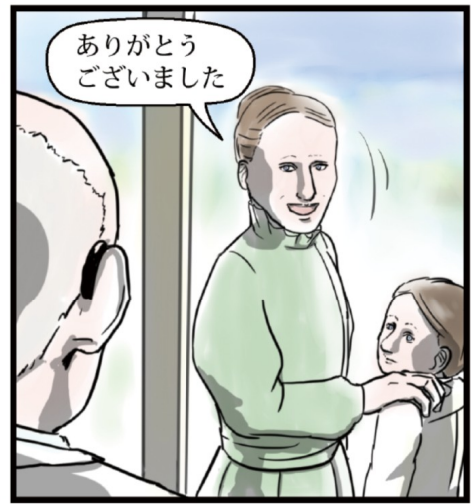
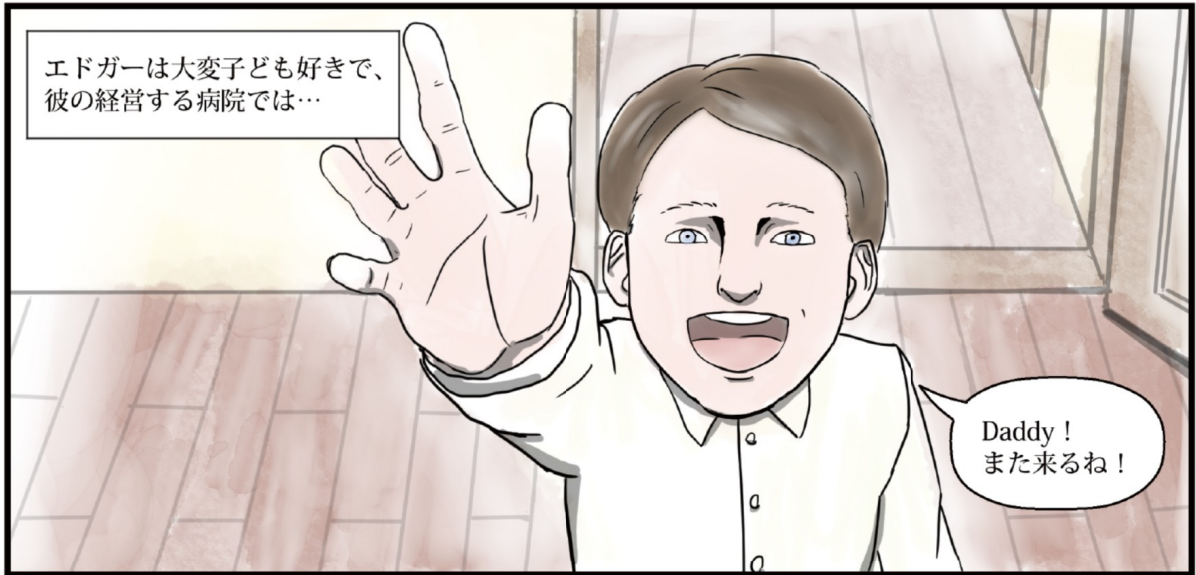


もし、救急医療の体制があって  
適切な治療が施されていたら、

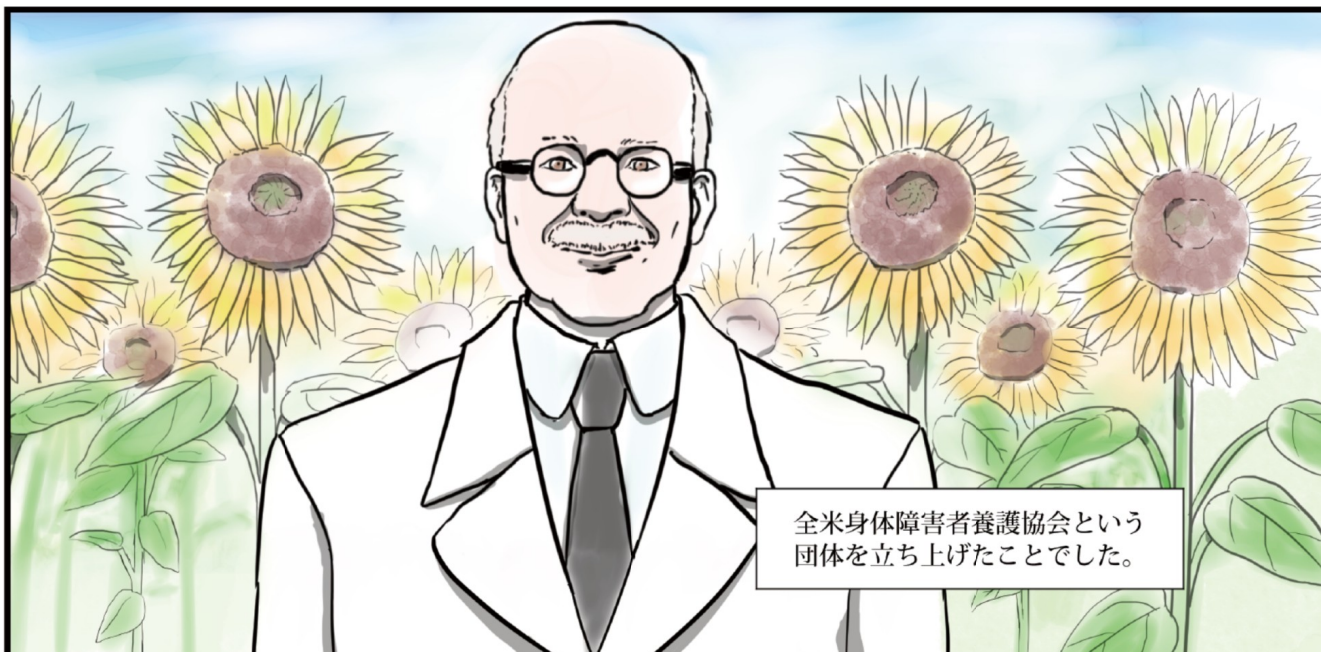
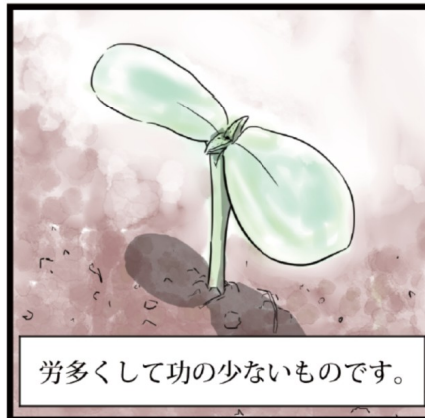
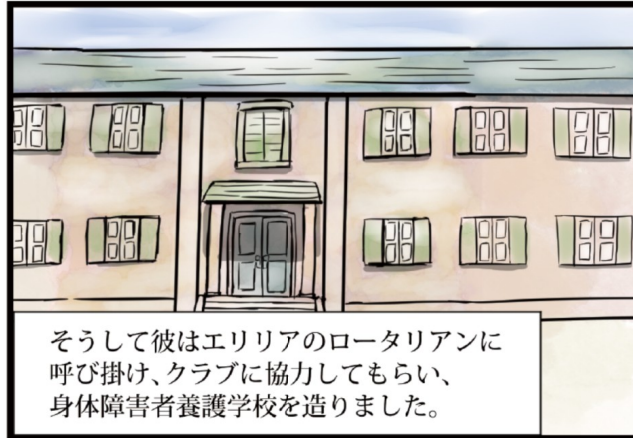
命までなくすことはなかったかもしれない…













そして、これらの行動により  
全米でロータリー運動の評価  
が高まってきました。

ロータリーの  
活動は立派だ！

ロータリーは  
身体障害者支援学校設立に  
積極的に取り組んでいるね

ロータリークラブは  
世のため、人のために  
働いているんだな

しかし、この状況を  
良く思わない人物も  
いました…

…エドガーが  
身体障害者養護学校を造り、  
協会を立ち上げ、

その会長となって一生懸命  
やっていることは結構

だが、その勢いを駆って全米の  
問題をロータリークラブが  
解決すべきだというような  
ことになる論外だ

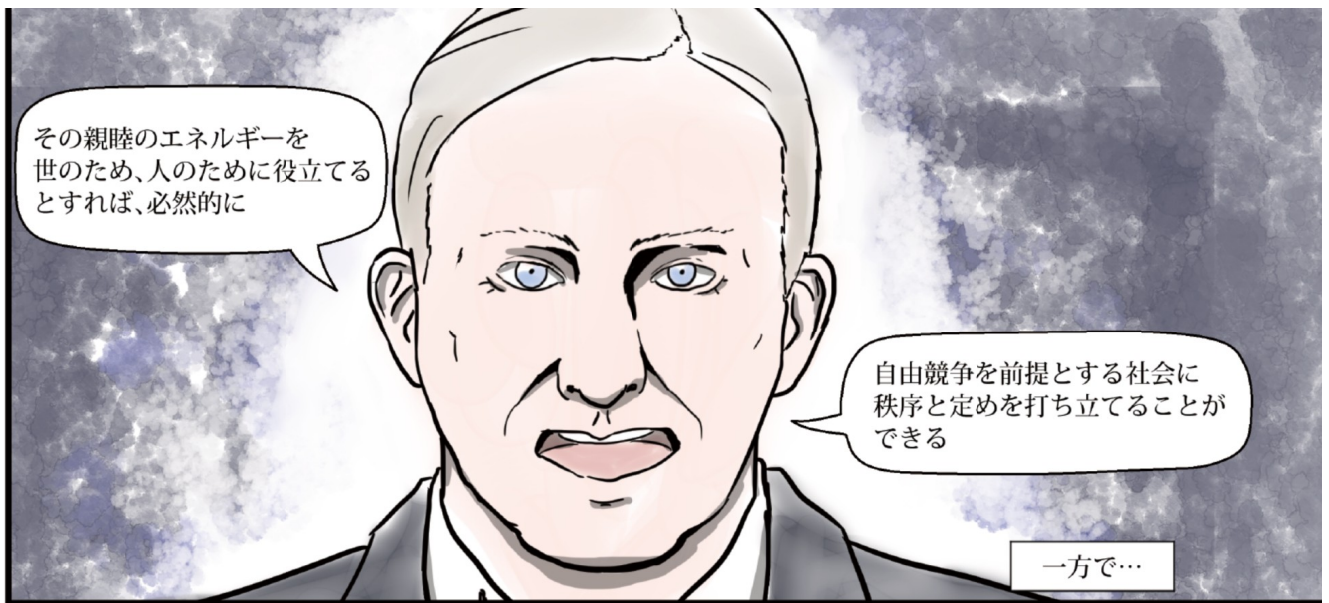
アーサー F. シェルドン

ロータリークラブというのは  
職業人をもって、深い親睦を  
達成することにあり、

深い親睦というのは  
経済秩序を健全化  
することにある

ロータリアンは職業人であり、  
自分の経済的自立を遂げていくことを  
主眼に掲げている人の社交団体





その親睦のエネルギーを  
世のため、人のために役立てるとすれば、必然的に

自由競争を前提とする社会に  
秩序と定めを打ち立てることができる

一方で…



1922年

批判を受けたエドガーは…

……



「自分は、ロータリークラブの会員として、クラブの  
団体財源を使って、身体障害者養護学校の設立に成功し、  
これがロータリーの社会的信用を高めることに大いに  
力となりましたが、」



「理論派のロータリアンたちはそれは  
ロータリーの本質的な奉仕ではないと  
言ってきます」



「そこでいろいろ考えた結果、あなたなら、私の  
この苦しみを救ってくれるに違いないと思い、  
この手紙を差し上げている次第です」





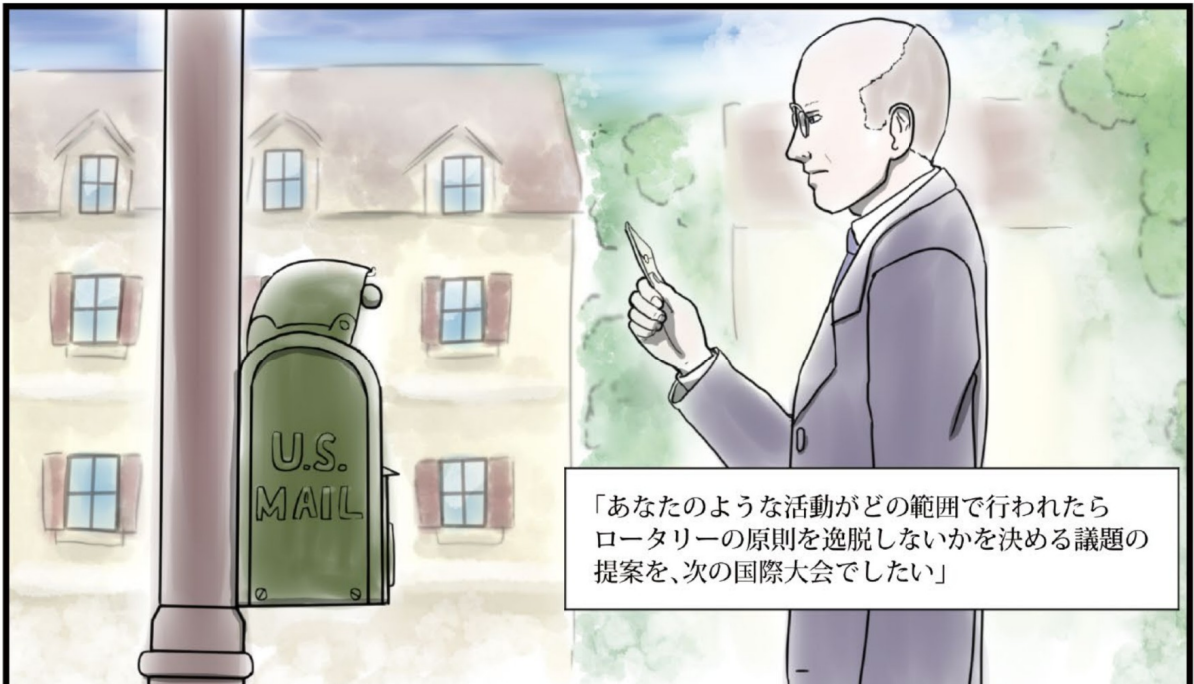
そう、ポール・ハリスへと手紙を書きました。



そしてポールはすぐさま返事を書きます。



「あなたを非難するロータリアンたちの考え方は絶対に間違っていないということをもまず申し上げたい」



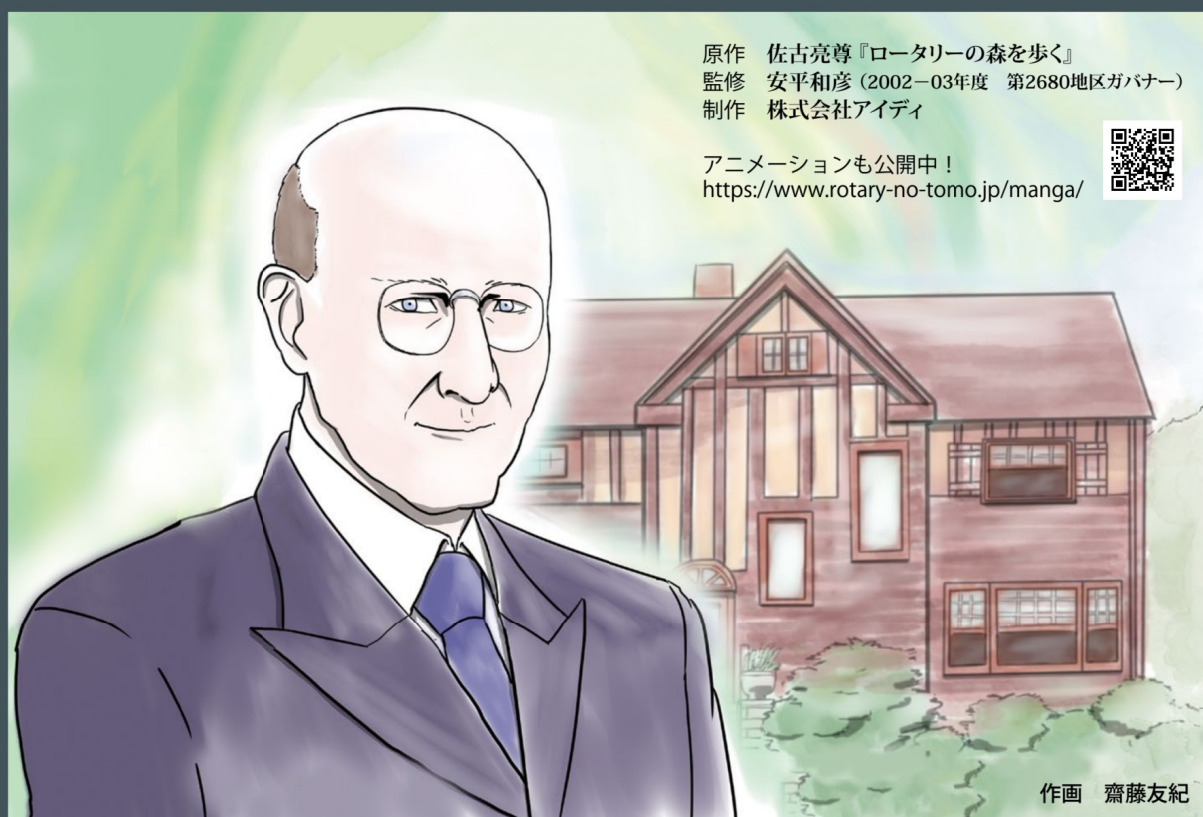
「あなたのような活動がどの範囲で行われたらロータリーの原則を逸脱しないかを決める議題の提案を、次の国際大会でしたい」

連載コミック

# ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第6章

ロータリーの原理・原則（後半）



原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』  
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）  
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！  
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



作画 齋藤友紀



## 第6章 ロータリーの原理・原則(後半)

そして、奉仕活動の実践をロータリーの使命とする「実践派」、

奉仕の心の形成をロータリーの本質とする「理論派」に分かれ、ロータリー分裂の危機をもはらむ大論争になりました。



エドガー・アーレン



アーサー F. シェルドン

1922年

実践派より身体障害児救済事業に関する共同提案を受けた理事会は、この事業を奨励する決議22-17号を採択。

理事会は分かっていない!

しかしその直後に開催された理事会では全く反する理事会決定がなされます。



国際ロータリーは身体障害児問題が重要であることを認める

しかし、これに全く夢中になり、ロータリーの目的が見失われることは望まない

理論派の立場を考慮したのか…?



理事会決議はさらに二転三転し…





この騒然たる論議沸騰の中に2人の  
ロータリアンが名乗りを上げました。

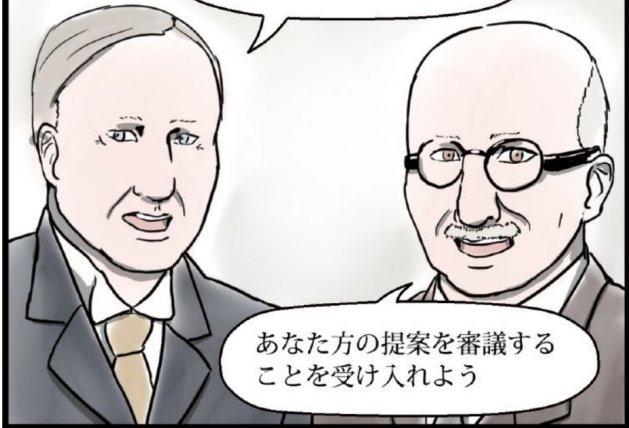
テネシー州ナッシュビル・ロータリークラブ会員  
ウィリアム・メイニア・ジュニア



これにより議論の  
こじっく  
膠着が解けました。



なるほど、ここでもとを  
分かつのも忍びない



あなた方の提案を審議する  
ことを受け入れよう

そして、2人による代案が共同提案されました。

それが「決議23-34号」です。

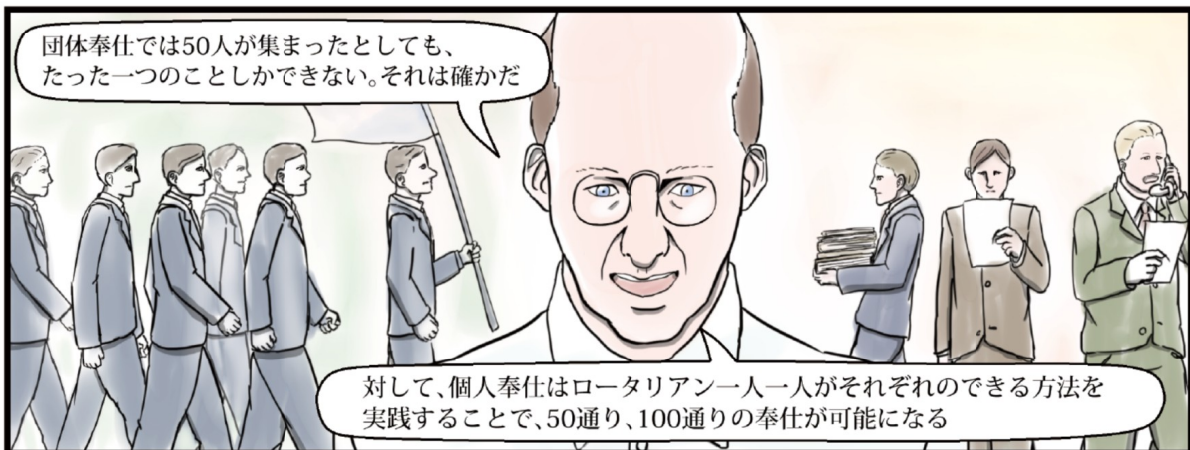
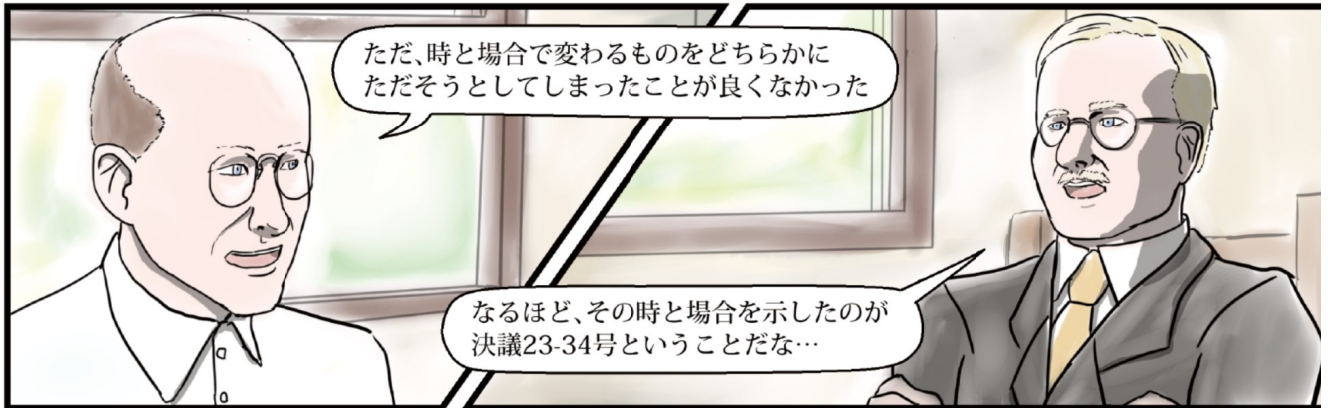


「決議23-34号」の成立と引き換えに「決議23-8号」、  
「決議23-29号」は撤回されることになり、  
この論争に終止符が打たれました。

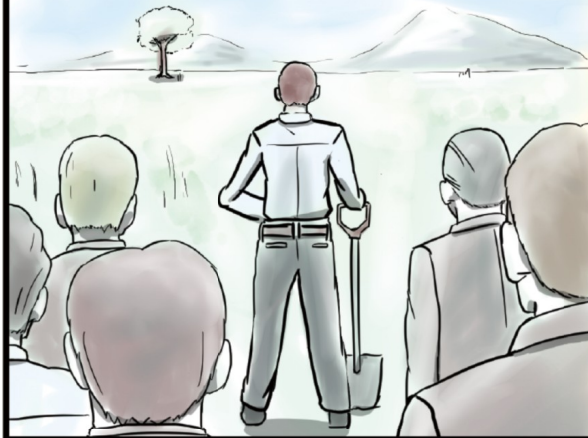
ポール・ハリス





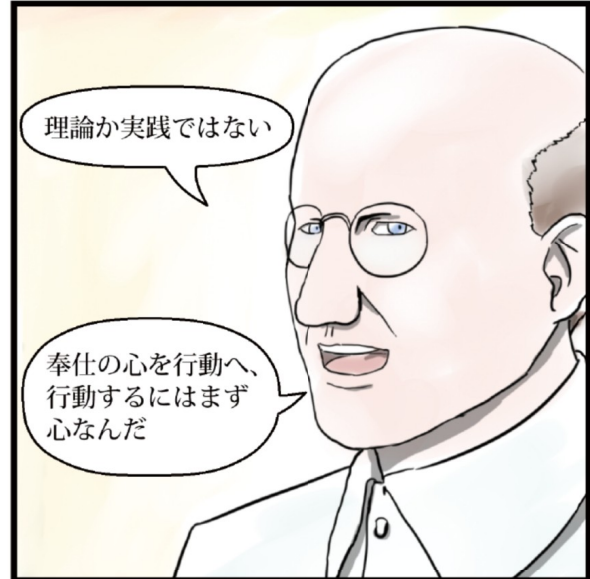


だが、初めの一步を踏み出すためには、団体奉仕という強い一押しが必要な時だってある

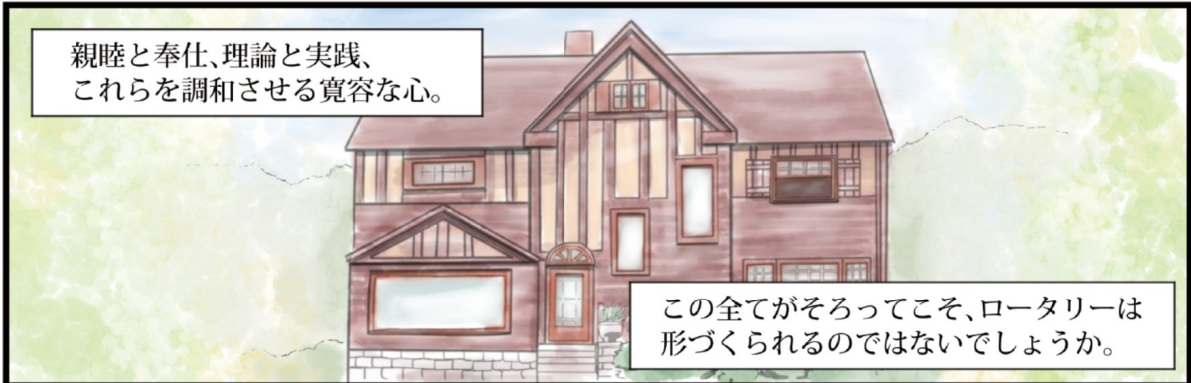


理論か実践ではない

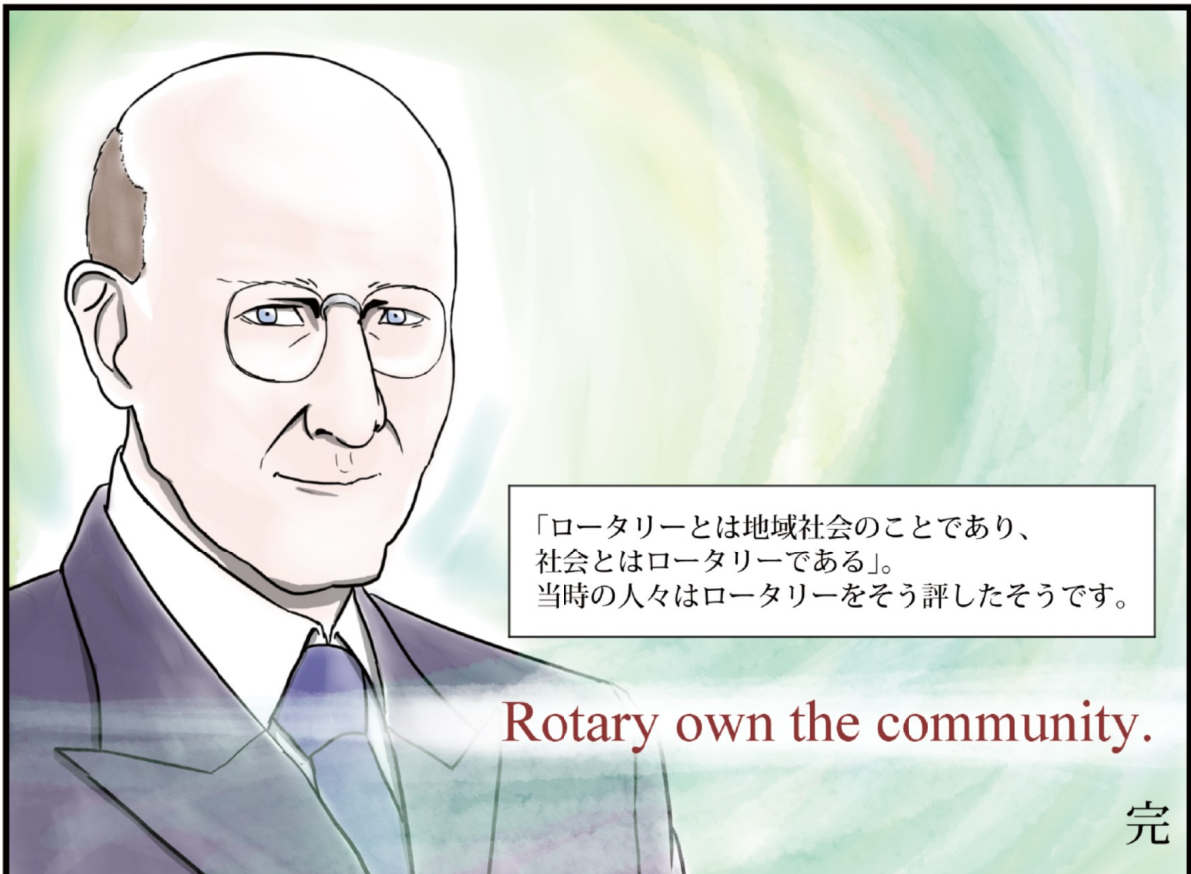
奉仕の心を行動へ、  
行動するにはまず  
心なんだ



親睦と奉仕、理論と実践、  
これらを調和させる寛容な心。



この全てがそろってこそ、ロータリーは  
形づくられるのではないのでしょうか。



「ロータリーとは地域社会のことであり、  
社会とはロータリーである」。  
当時の人々はロータリーをそう評したそうです。

**Rotary own the community.**

完